

検討項目	会議資料	主なご意見	とりまとめ案（現時点での大枠）
1. 見直しに関する基本的な考え方	第2回資料p3	<p>基本的な考え方は第1回フリーディスカッションを踏まえて作成。第2回での主な意見としては</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中学校と連携して、バスを利用しようというキャンペーンなどの取り組みを行うのはどうか。 • 高齢者が集まる催しとバス利用をつなげればよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 第2回資料p3のとおり。 • 利用促進策が必要ではないか。
2. 公共交通の形態	第3回資料2	<p>第3回での主な意見としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【デ】今の形態はやめてデマンドにした方がいいのではないか。コスト削減はどうするのか。 • 【デ】循環バスの利用者のなかには、デマンドとなった場合は予約する手間が面倒との声がある。 • 【デ】デマンドは電話対応や配車対応などが必要となるので経費がかかるのではないか。 • 【定】曜日などで地区を決めて便を集中し、利便性を向上させるのはどうか。 • 【定】車両サイズは小型化してよいのではないか。 • 【福】公共交通全体をボランティアに委ねるのは難しいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • デマンド交通の導入には課題※があることから、定期路線運行による形態とする。 ※ 循環バスの利用者でデマンド型交通を望む方は少なく、導入による転換率の低下が懸念されること ※ 需要が高まってくるとデマンド型交通の方が定期運行路線より費用が高くなる傾向があること ※ 運転員の確保などにより、予約がなくても一定のコストが発生すること • 定期運行路線については費用対効果及び最大公約数としての利便性を考慮しつつ、ダイヤの見直し・利用者にとっての分かりづらさの解消を図る。（第3回資料2）。 • 公共交通全体をボランティア輸送に委ねるのは難しい。補完する役割として先進事例等の情報収集を引き続き行う。

検討項目	会議資料	主なご意見	とりまとめ案（現時点での大枠）
3. はまなす号と次第浜路線バスの統合・再編	第3回資料3	<p>第3回での主な意見としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利便性が低下しなければ、2路線が統合されてもよいのではないか。 • 統合した場合の料金はどうか。（←事務局回答：町内区間については循環バスの料金と考えている。） • ・路線バスと循環バスで50人くらいの利用があるとのことだが、実際もっと利用したいと考えている人はいると思う。利用しない人は自分の都合に合わないということ。 	<ul style="list-style-type: none"> • はまなす号と次第浜路線バスを統合し、効率化を図るべき。 • その際、統合による利便性への影響と対策※について検討するべき。 ※ 網代浜集落への進入 ※ 他路線との乗り換え ※ 運賃
4. 運賃・減免	第3回資料4	<p>第3回での主な意見としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在乗り継ぎは無料となっているが、乗る側としては必要で乗っているのに、乗り継ぎの場合に割増しとしてもやむを得ないのではないか。 • 消費税が増税となったところでもあるので、値上を行っても受け入れてもらえるのではないか。 • 一人暮らしの高齢者の方も利用している。値上げをしてもいいからバスを継続してもらいたい。 • 値上げを行うのであれば、定期券などで割引を行うことを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 財政コストを縮減し、公共交通を持続的に維持していくためには、運賃の値上げ・減免の見直しも選択肢の一つになりうる。